

Eat Well, Live Well.

Aj
AJINOMOTO



気づけば変わる、未来が広がる。

! アミノインデックス®



1

1. AIRS®の概要

2. AIRS® 検査の流れ・資材・注意点

3. AICS®・^{エーアイエルエス}AALS®の性能、実績、研究結果

2

血液中のアミノ酸濃度バランスから、さまざまな疾病リスクを1回の採血で評価

アミノインデックス® リスクスクリーニング (AIRS®)

アミノインデックス®
がんリスクスクリーニング
(AICS®)

アミノインデックス®
生活習慣病リスクスクリーニング (AILS®)

※2 AILS (認知機能低下) については、受診を選択された方だけに結果が報告されます。
なお、49歳以下の方は選択できません。
※3 AILS (脳心疾患リスク) は、脳卒中と心筋梗塞のいずれかを発症するリスクを評価します。

現在がんである可能性を評価

男性AICS (5種)

胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん
前立腺がん

女性AICS (6種)

胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、
乳がん、子宮・卵巣がん※1

※1 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの
いずれかのがんである可能性について評価

4年以内に
糖尿病を発症
するリスク
を評価

AILS
(糖尿病リスク)

たんぱく質の
もとになる
アミノ酸レベル
を評価

AILS
(アミノ酸レベル)

現在認知機能
が低下している
可能性
を評価 ※2

AILS
(認知機能低下)

10年以内に
脳卒中・心筋梗塞
を発症するリスク
を評価 ※3

AILS
(脳心疾患リスク)

4つのタイプ + ハイリスク群には「*」が付きます

AICS® は単独での受託も可能です

タイプ別の生活改善を推奨

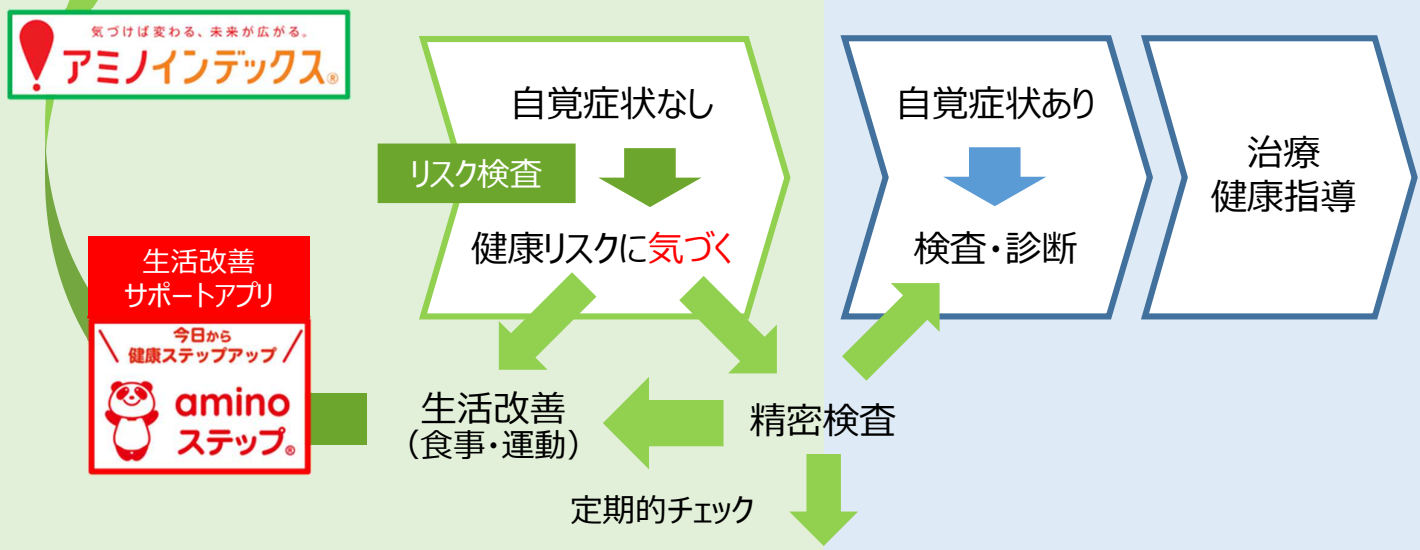
「リスク検査」とは

リスク検査

リスクを知り、予防につなげることが目的
未病 (早期)・予防の領域

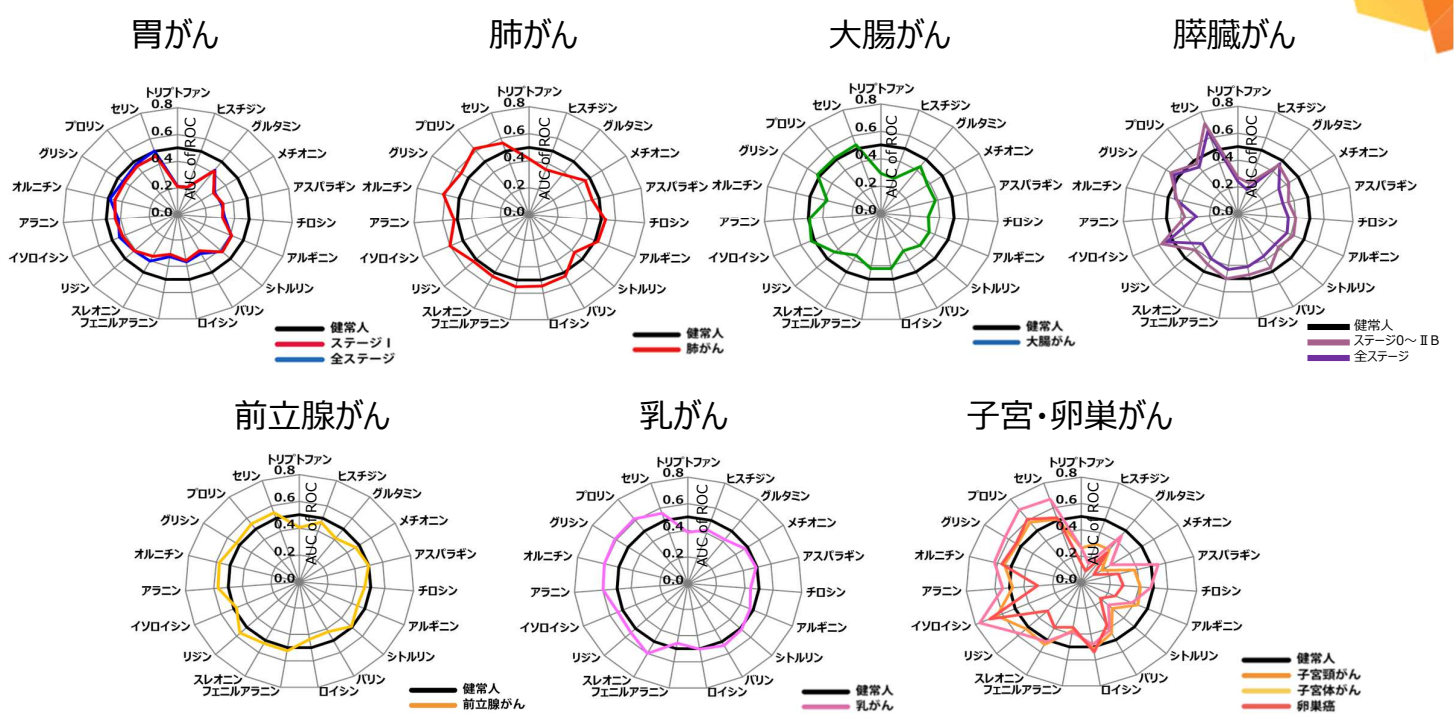
診断検査

病気を治すことが目的
病気・医療の領域



リスク検査とは、疾病に罹患している可能性や
将来罹患する可能性を評価する検査になります

各種がん患者の血漿中アミノ酸濃度バランス



AICS (子宮・卵巣) は、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかに罹患しているがんリスクを評価することができます (ただし、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません)

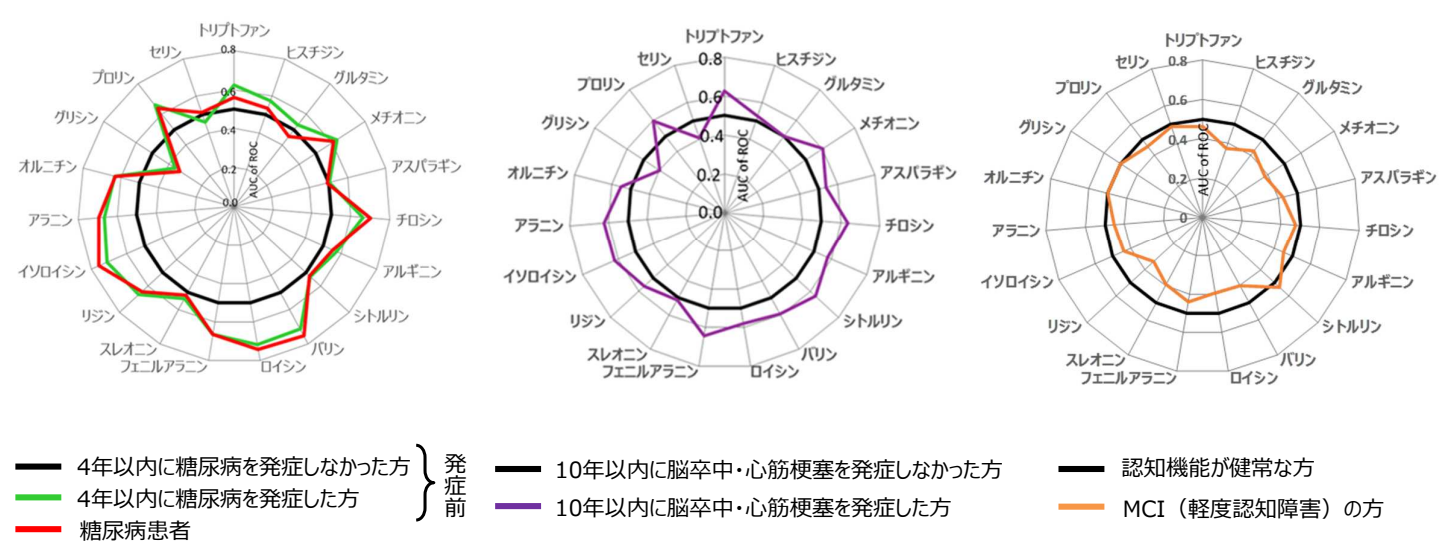
血漿中のアミノ酸濃度バランスは健常者と比較してがん患者において、代謝の変化など様々な要因によって変動しています

糖尿病発症者の発症前、脳卒中・心筋梗塞発症者の発症前、MCI (軽度認知障害) の方の血漿中アミノ酸濃度バランス

糖尿病患者、4年以内に糖尿病を発症した方の血漿中のアミノ酸濃度バランス

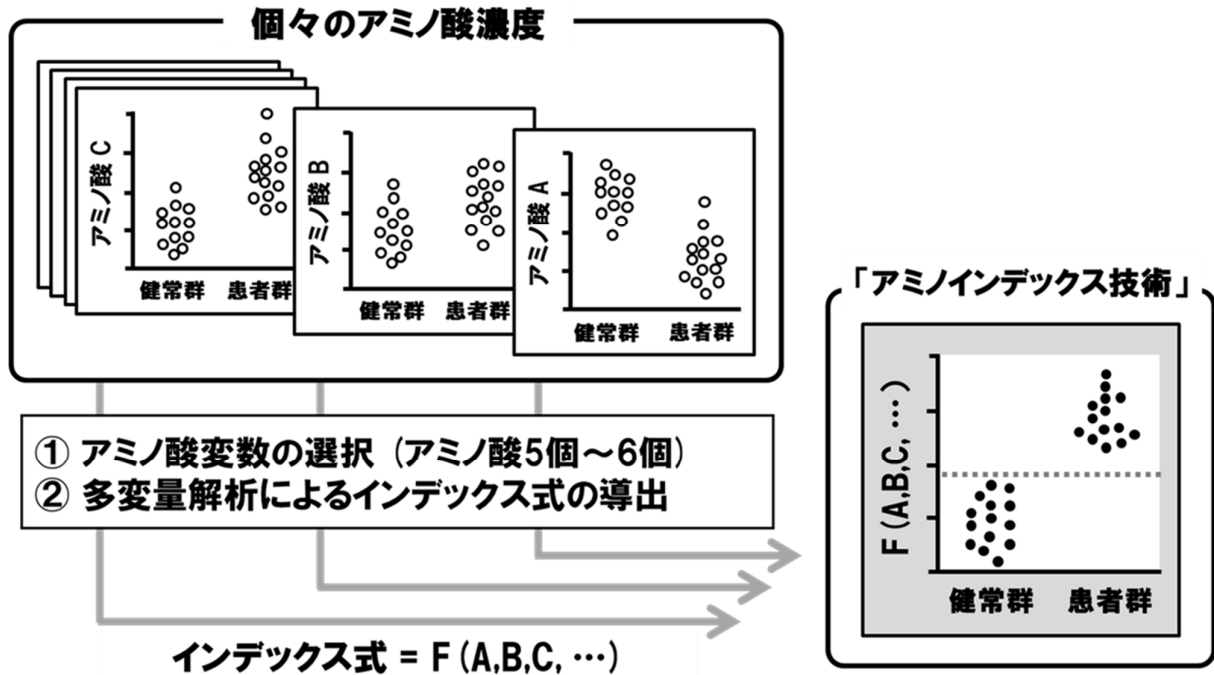
10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症した方の血漿中のアミノ酸濃度バランス

MCI (軽度認知障害) の方の血漿中のアミノ酸濃度バランス



糖尿病、脳卒中・心筋梗塞を発症する前から血漿中のアミノ酸濃度バランスは変動しています
 MCI (軽度認知障害) の方の血漿中のアミノ酸濃度バランスは変動しています

「アミノインデックス技術」とは



「アミノインデックス技術」を用い、患者群の血漿中アミノ酸濃度バランスにどれくらい近いかという確率を「アミノインデックス値」として示しています

7

アミノインデックス® がんリスクスクリーニング (AICS®) とは

AICS® とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度バランスの違いを統計的に解析することで、**現在**がんであるリスク（可能性）を評価するリスクスクリーニング*1検査です。

*1 リスクスクリーニング検査：がんを見つける（確定診断）検査ではなく、がんである可能性を拾い上げる検査

1. 一度の採血で、複数のがんを同時に検査できます

男性AICS[5種]：胃がん、肺がん、大腸がん、**膵臓がん**、前立腺がん

女性AICS[6種]：胃がん、肺がん、大腸がん、**膵臓がん**、乳がん、子宮がん・卵巣がん*

※ 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんであるリスクについて評価

2. 早期のがんにも対応した検査です

3. 約5mLの採血による簡便な検査です

健康診断・人間ドックなどで
AICS® 検査受診

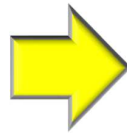
各がん罹患リスクをがん種ごとに
ランクABCで評価。A<B<Cの順に高くなります

ランクCとなったがん種は
精密検査受診が推奨される*2

例えば膵臓がんがランクCになると、ランクCの方が
がんである確率は、一般の方と比べて、11.6倍高くなります



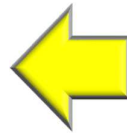
がんである可能性が高い人たちを
精密検査の土俵に乗せるための
 処理能力が高い検査 (AICS® など)



がんの早期発見、治療



精密検査受診



AICS® は、がんを早期に発見（精密検査を受診）するための大事な一翼を担うリスクスクリーニング検査となります

AICS値の分布とランク分類

AICS値は、それぞれのがんについて、**現在がんである可能性**を、0.0～10.0 の数値で報告しています。数値が高いほど現在がんである可能性が高くなります

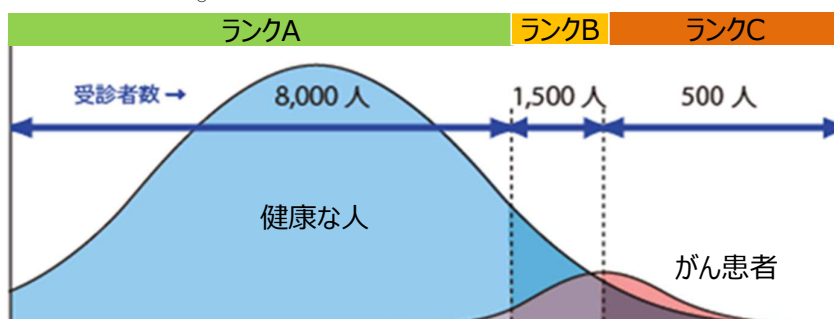
カットオフ値の設定
 特異度80% 特異度95%

注) 特異度は、症例対照研究に基づき、がん患者と健常者がそれぞれ異なる集団から算出されています

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

低い ← がんである可能性 → 高い

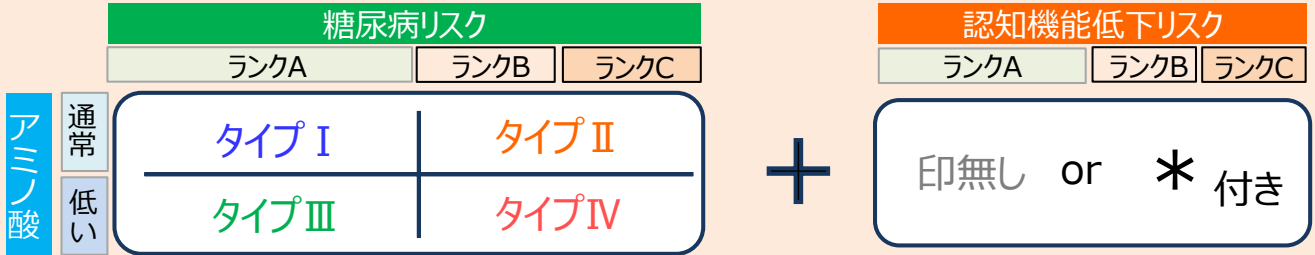
1万人がAICS®を受診した際の結果分布（模式図）



アミノインデックス® 生活習慣病リスクスクリーニング (AILS®) とは

- AILS(脳心疾患リスク)は、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクを評価
- AILS(認知機能低下)は、現在認知機能が低下している可能性を評価
- AILS(糖尿病リスク)は、4年以内に糖尿病を発症するリスクを評価
- AILS(アミノ酸レベル)は、血液中の必須・準必須アミノ酸の低さを評価

生活習慣改善タイプを提示



冊子にてタイプ別の基本アドバイスを提供

エーアイエルエス「AILS®生活改善ガイド」※
(B5冊子 [28頁])



生活習慣改善のアドバイスや役立つコンテンツを提供

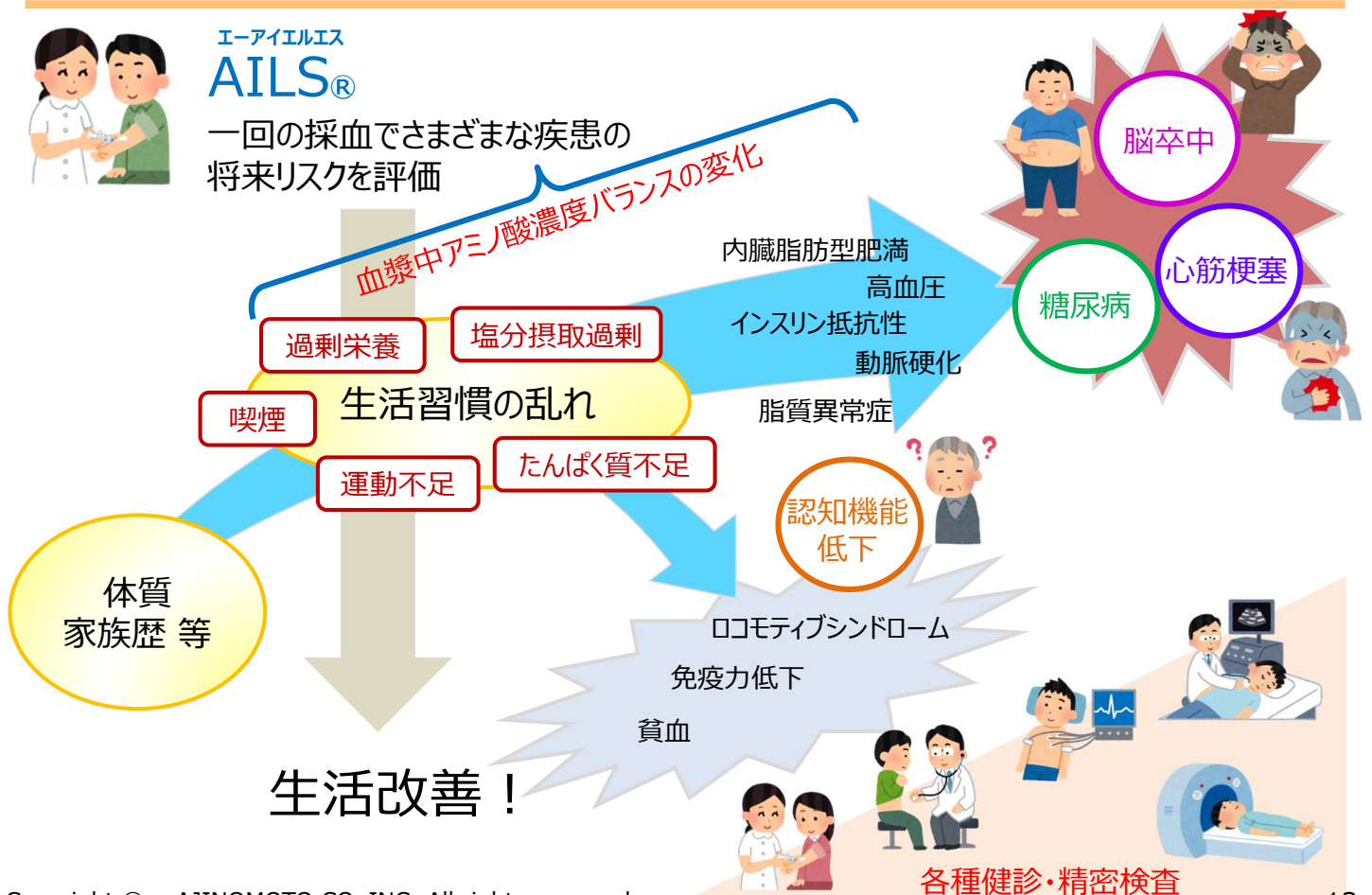
※ 記載内容は、糖尿病診療ガイドライン2016、虚血性心疾患の一次予防ガイドライン（2012年改訂版）、動脈硬化性疾患予防ガイドライン（2017年版）、認知症疾患診療ガイドライン（2017年版）や日本人の食事摂取基準（2015年版）に基づいたものとなっています。

エーアイエルエス AILS® の位置づけ



エーアイエルエス AILS®

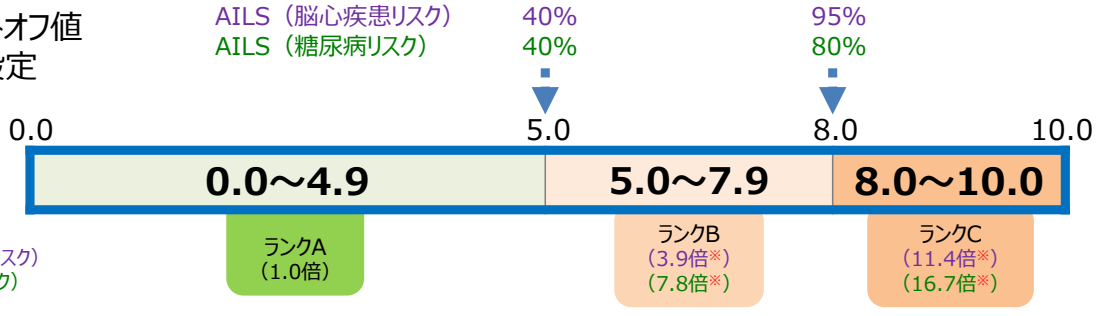
一回の採血でさまざまな疾患の将来リスクを評価



AILS (脳心疾患リスク) ・AILS (糖尿病リスク)

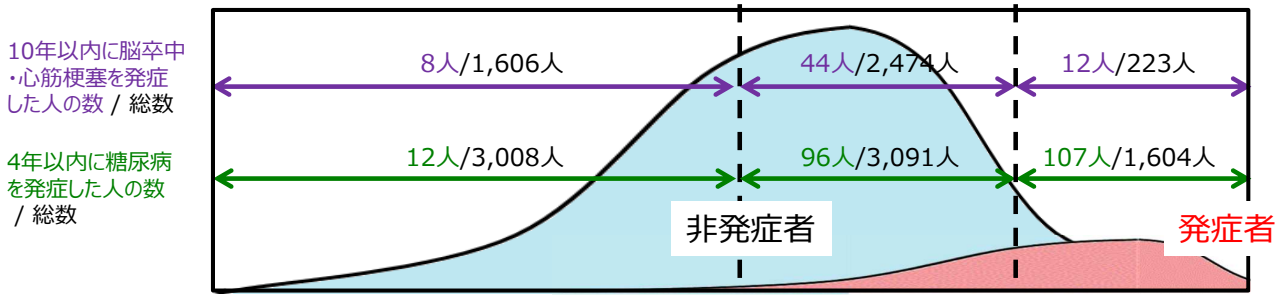
AILS (脳心疾患リスク) 値は、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクを、
AILS (糖尿病リスク) 値は、4年以内に糖尿病を発症するリスクを、
それぞれ0.0～10.0の数値で報告しています。数値が高いほど、発症するリスクが高くなります。

ランク分類とカットオフ値
(特異度) の設定



低い ← 10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク / 4年以内に糖尿病を発症するリスク → 高い

各ランクにおける結果分布 (概念図)

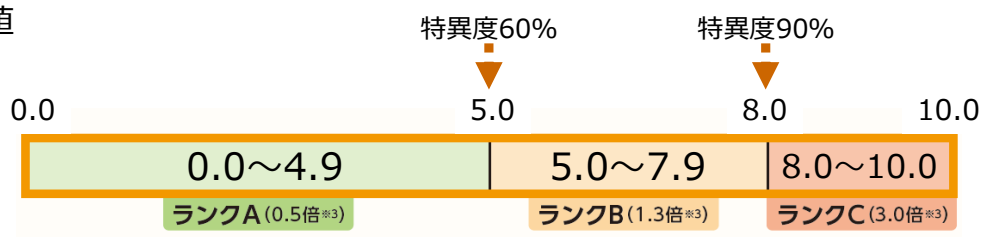


※ : 「ランクA」を1.0とした場合の相対リスク値 13

AILS (認知機能低下) 値の分布とランク分類

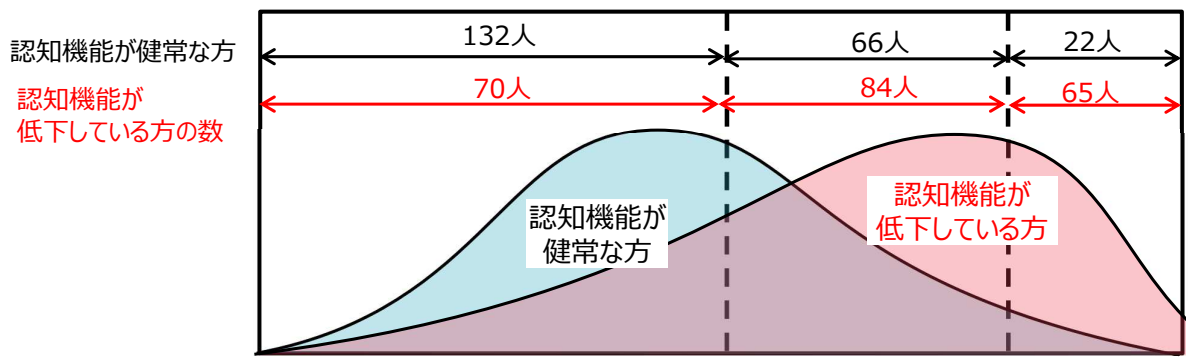
AILS (認知機能低下) 値は、現在認知機能が低下している可能性について、0.0～10.0の数値で報告しています。数値が高いほど、現在認知機能が低下している可能性が高くなります

ランク分類とカットオフ値
(特異度) の設定



低い ← 認知機能が低下している可能性 → 高い

各ランクにおける結果分布 (概念図)

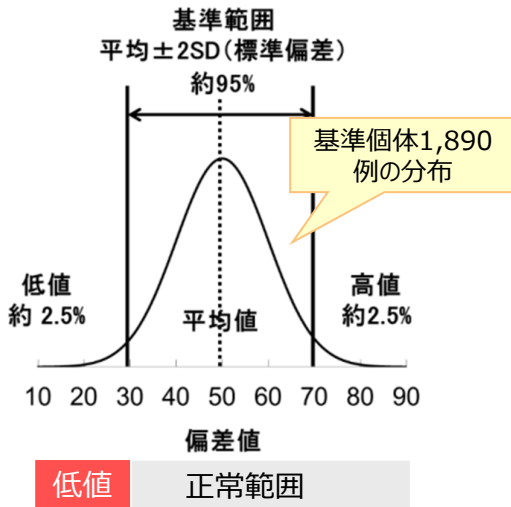


※3 : 各ランクに対する尤度比 (ゆどうひ) 14

AILS (アミノ酸レベル) について

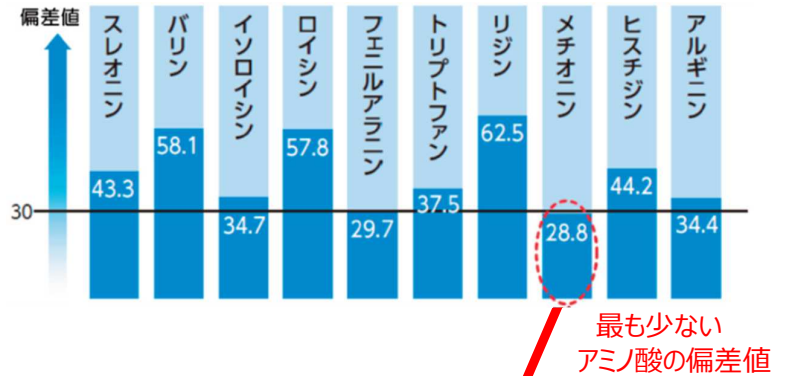
AILS (アミノ酸レベル) 値は、血液中の必須・準必須アミノ酸が低くなっていないかどうかについて、0.0~100.0の数値で報告しています

AILS (アミノ酸レベル) の偏差値分布



30.0未満を'低い'と分類

AILS (アミノ酸レベル) 値の分類方法



15

必須アミノ酸についての基礎知識

- ① ヒトの体内で作ることができないアミノ酸
→ 栄養として食べ物などから摂取することが必須
- ② 摂取する理想的なアミノ酸には理想的なパターンがある (体内利用のパターン)
- ③ ひとつでも足りないと他のアミノ酸もタンパク合成に有効利用されない

必須アミノ酸 9種

ヒトの体内で作れず、食べ物などから摂取する必要がある。

メチオニン
スレオニン
バリン
トリプトファン
フェニルアラニン

ロイシン
イソロイシン
リジン
ヒスチジン

非必須アミノ酸 11種

ヒトの体内で作ることが出来る。

「準」必須アミノ酸

アルギニン
システイン
チロシン

グルタミン酸
アスパラギン酸
グルタミン
アスパラギン
グリシン
アラニン
セリン
プロリン

エーアイエルエス

AILS® では10種の必須・準必須アミノ酸レベルを評価します

糖尿病リスク

		ランクA	ランクB	ランクC
アミノ酸レベル	通常	タイプ I AILS (糖尿病リスク) : ランクA AILS (アミノ酸レベル) : 通常 リスクが低い状態 推奨内容 今はリスクが低い将来にそなえ、良い生活習慣を身につける。 ○主食は食物繊維を ○おかずには魚料理を ○週2回の有酸素運動	タイプ II AILS (糖尿病リスク) : ランクBまたはC AILS (アミノ酸レベル) : 通常 4年以内に糖尿病を発症するリスクが高い 推奨内容 内臓脂肪のつきすぎに注意。 ○体重管理 ○主食は食物繊維を ○日頃の活動を増やす	
	低い	タイプ III AILS (糖尿病リスク) : ランクA AILS (アミノ酸レベル) : 低い 大切な栄養素である必須・準必須アミノ酸が低い 推奨内容 良質なたんぱく質 ¹⁾ の摂取と運動による筋肉増加を図る。 ○1日3食食べる ○たんぱく源のおかずを忘れずに ○筋力をつける	タイプ IV AILS (糖尿病リスク) : ランクBまたはC AILS (アミノ酸レベル) : 低い 4年以内の糖尿病リスクが高く必要なアミノ酸も低い 推奨内容 エネルギー過多だが必要なたんぱく質の摂取が少ない可能性が。食生活と運動習慣を根本から見直して。 ○体重管理 ○たんぱく質のおかずを忘れずに ○主食は食物繊維を ○日頃の活動を増やし筋力をつける	
* マークあり AILS (認知機能低下) : ランクBまたはC 現在認知機能が低下している可能性が高い 推奨内容 各タイプの推奨に加え、認知機能低下につながる生活習慣を改善する。 ○たんぱく質は毎日摂る ○1日1時間以上歩く		エーアイエルエス「AILS®生活改善ガイド」 ²⁾ (B5冊子) より引用		

※ 既にほかの疾患等で生活習慣に対する指導がされている場合には、そちらを優先してください

1) 良質なたんぱく質：必須アミノ酸が不足すること無く含まれているたんぱく質
 2) 監修：山門 貴 (医師/医学博士 日本内科学会 総合内科専門医)
 北村 明彦 (東京都健康長寿医療センター 研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長)
 佐々木 由樹 (株式会社リンクアンドコミュニケーション、管理栄養士、公衆衛生学修士)

AIRS® (AICS®・AILS®) ポケットファイル

(表面：表)

(表面：裏)

(中面)

例：同封する資料

AICS® 検査結果への対応
(※医療施設様へはひな型データのご提供)

エーアイエルエス AILS® 生活改善ガイド (B5冊子)

臨床検査会社より複数書類を同封できるポケットファイル (A4サイズ) を提供しております。本資料にAICS®・AILS® 報告書、「AILS® 生活改善ガイド」と併せて、「AICS® 検査結果への対応」等も同封し、受診者様へご返却ください。

AICS® 結果報告書（表面）

AICS値

AICS値は、それぞれのがんについて、
現在がんである可能性を、0.0～10.0の数値で報告。
数値が高いほど現在がんである可能性が高くなります。

発症するリスクを判断する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類。



① 検査結果

低い ← 0.0 (AICS値) 現在がんである可能性 5.0 8.0 高い → 10.0

項目	AICS値	ランクA (0.0～4.9)	ランクB (5.0～7.9)	ランクC (8.0～10.0)
AICS(胃)	3.2	●		
AICS(肺)	5.2		●	
AICS(大腸)	0.8	●		
AICS(膵臓)	8.7			●
AICS(前立腺)	2.2	●		

男性 AICS（5種）： 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性 AICS（6種）： 胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん※

※ 子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかに罹患している可能性について評価することができますが、それぞれのがんの可能性については区別することはできません。

19

AICS® 結果報告書（裏面）

AICS® 検査後のステップ

ステップ1 検査結果を理解する。

アミノインデックス® 受診者サイト

検査後に役立つ情報を幅広くご案内

生活改善サポートアプリ「aminoステップ®」

結果報告書を登録（受診後3か月以内）すると、
医師へのチャットでの健康相談が一定期間無料

ステップ2 検査結果を踏まえて適切に対応する。

リスクが高い場合は、さらに詳しい検査を受診することで、
がんを早期発見できる可能性があります。

ステップ3 定期的にAICS®を受診しましょう。



「アミノインデックス®の検査内容に関するお問い合わせ」 ☎️ 0120-171-714 (受付時間: 平日9:30～17:30)

※個人の検査結果に関する解釈は、法規上できませんので、あらかじめご了承くださいませ。※お客様への対応を正確に行うため、録音させていただいております。

② 生活習慣改善タイプ

① 検査結果

AILS (脳心疾患リスク)

AILS (糖尿病リスク)

AILS (脳心疾患リスク) 値は、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクについて、AILS (糖尿病リスク) 値は、4年以内に糖尿病を発症するリスクについて、それぞれ0.0~10.0の数値で報告。発症するリスクを評価する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類。

AILS (アミノ酸レベル)

10種類の必須・準必須アミノ酸の血漿中の濃度を評価し、0.0~100.0の数値で報告。

30以上を「通常」、30未満を「低い」と分類。

AILS (認知機能低下)

現在認知機能が低下している可能性、0.0~10.0の数値で報告。

可能性を評価する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類。



AILS(脳心疾患リスク)	ランクA	ランクB	ランクC
AILS(アミノ酸レベル)	通常	タイプI	タイプII
AILS(アミノ酸レベル)	低い	タイプIII	タイプIV

あなたの生活習慣改善タイプは **IV *** です。

AILS(認知機能低下)の検査結果が「ランクB」または「ランクC」の場合は、「*」マークが印字され、「ランクA」の場合は空欄になります。また、AILS(認知機能低下)の検査を選択していない場合は、斜線「/」が印字されます。

AILS (糖尿病リスク) とAILS (アミノ酸レベル) の評価結果に基づき、「タイプ I、II、III、IV」の4つに分類され、更にAILS (認知機能低下) の結果が「ランクB、C」の場合には、「*」のマークが付きます。AILS (認知機能低下) を選択していない場合は、この欄に斜線「/」が印字されます。

エーアイエルエス
AILS®生活改善ガイド (B5冊子)
アプリ「aminoステップ®」を用意



- 掲載コンテンツ
- 生活習慣リスク
 - 体重とカロリー
 - 大切な「たんぱく質」
 - おすすめの食べ方/レシピ/運動 等



- ウォークラリー、ミッション
- 健康相談
- 検査結果の登録・閲覧
- 生活改善ガイド閲覧 等



エーアイエルエス
AILS® 検査後のステップ

ステップ1 検査結果を理解する。

アミノインデックス® 受診者サイト
検査後に役立つ情報を幅広くご案内

生活改善サポートアプリ「aminoステップ®」
結果報告書を登録 (受診後3か月以内) すると、
医師へのチャットでの健康相談が一定期間無料

ステップ2 生活習慣を改善する。

「aminoステップ®」や、「AILS®生活改善ガイド」を活用して、あなたの健康状態にあった習慣を身につけましょう。

ステップ3 定期的にAILS®を受診しましょう。

「アミノインデックス®の検査内容に関するお問い合わせ」 ☎ **0120-171-714** (受付時間: 平日9:30~17:30)

※個人の検査結果に関する解釈は、法規上できませんので、あらかじめご了承くださいませ。※お客様への対応を正確に行うため、録音させていただいております。

アミノインデックス® 受診者サイト

検査結果の入力
⇒ 検査結果に応じた結果の見方を表示

「さらに詳しい検査」が可能な施設
(医療機関サーチ) の紹介

アミノインデックス®
受診者サイト※

aminoステップ®※
ダウンロードで
医師にチャットで相談



AICS®



生活習慣タイプ別
基本アドバイスの提供

イーアイルエス
AILS®



※ 検査報告書に貼付のQRコードから閲覧・ダウンロードできます

アミノインデックス® 受診者サイトより検査後に役立つ情報を幅広くご案内します

23

生活改善サポートアプリ aminoステップ®



※ 一般の方々（アミノインデックス®を受診していないの方々）にもご利用頂けるアプリです。

検査結果を
登録する

アプリ上で
受診結果を登録



登録した検査結果*1と
結果に応じた相対リスク他を
閲覧できます。

検査結果登録で
aminoマイル
がもらえる

検査結果を
確認する

アプリ上で
生活改善ガイド*2を閲覧



自分のタイプに合った
生活改善アドバイスを
閲覧できます

生活改善を
始める※

ウォークラリーで
運動習慣のきっかけに



1日の歩数に運動
消費カロリーや移動距離
を確認できます

生活改善を
楽しむ※

クイズやアンケートで
aminoマイルがたまる



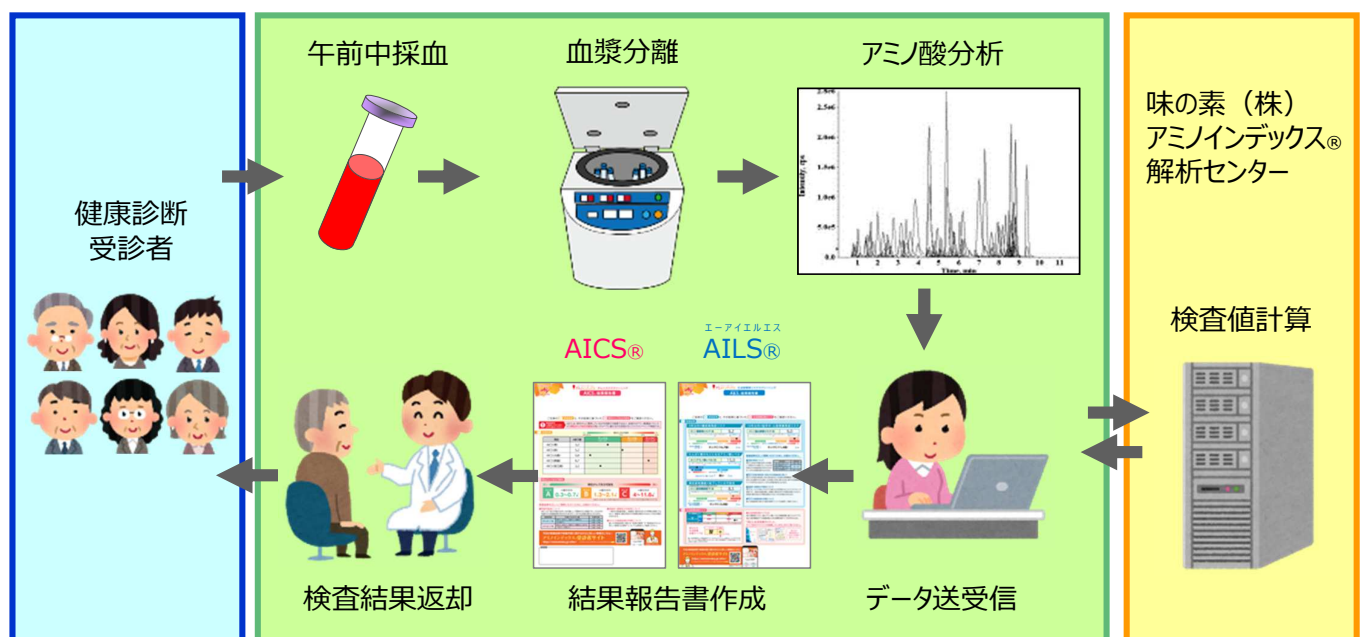
aminoマイルは
Amazonギフト券と
交換できます

*1 経年（複数回受診）での受診結果を登録できます [2023年4月実装予定]。

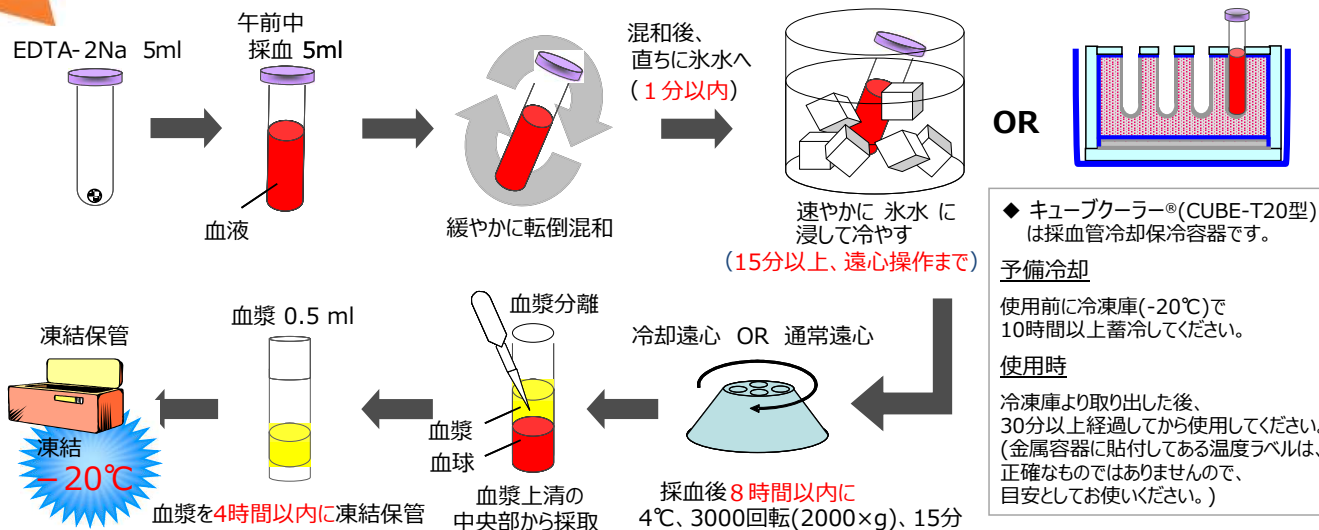
*2 アミノインデックス® リスクスクリーニング (AIRS®) の検査結果に応じたアドバイスです。24

1. AIRS® の概要
2. **AIRS®** 検査の流れ・資材・注意点
3. AICS®・^{エーアイエルエス}AALS® の性能、実績、研究結果

アミノインデックス® 検査の流れ



アミノインデックス® 検査の検体処理方法



1. EDTA・2Na入り採血チューブにて血液約5mLを採取してください
2. 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください (ローラでの混和は行わないでください)
3. 混和後直ちに (1分以内) チューブを氷水中 (血液の液面まで氷水につかる状態) あるいはキューブクーラー®で冷却 (15分以上、遠心操作まで冷却) してください
4. 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離 (4℃、3,000回転 (2000×g) 、15分) または通常遠心分離 (3,000回転 (2000×g) 、15分、ローターが昇温していない) してください
5. 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れない様に血漿上清の中央部から採取し、分注してください
6. 分注後、血漿を4時間以内に凍結保管してください

27

キューブクーラー® の使用方法

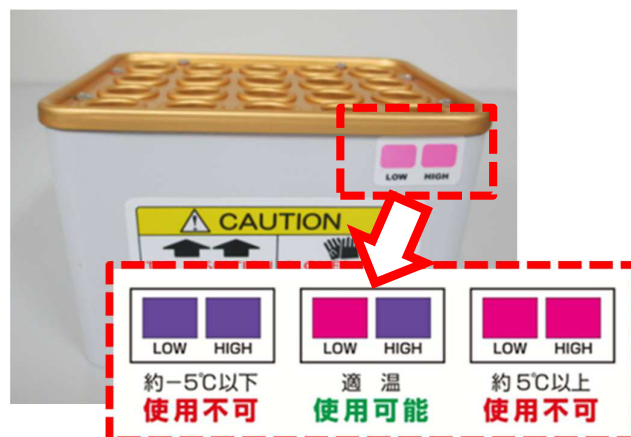
キューブクーラー® (CUBE-T20型) は、採血管冷却保冷容器です。

金属容器の予備冷却 (事前準備)

採血当日朝までに金属容器を冷凍庫 (-20℃) で10時間以上蓄冷してください。

採血管の冷却 (使用時)

採血当日朝に金属容器を冷凍庫より取り出した後、断熱容器内に設置し30分以上経過してから使用してください。(金属容器に貼付してある温度シールは、シール自体の劣化もありますので、使用開始時の目安としてお使いください。)



AIRS® (AICS®・AILS®) 検査対象者について

AIRS®は下記年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の結果は報告されませんが、評価対象外となります。また、AILS (認知機能低下) の結果は、受診を選択された方のみ報告されます。

	検査項目	評価内容	対象年齢
AICS®	男性AICS (5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25～90歳
		前立腺がん	40～90歳
	女性AICS (6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25～90歳
		子宮がん・卵巣がん※1	20～80歳

※1 子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することができますが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。一部のがん種についてのみが対象年齢外になる場合、そのがん種は評価対象外となりますので、ご理解いただいた上でご受診ください。

	検査項目	評価内容	対象年齢
エーアイエルエス AILS®	AILS (脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク※2	30～74歳
	AILS (糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳
	AILS (アミノ酸レベル)	たんぱく質のもとになるアミノ酸レベル	20～80歳
	AILS (認知機能低下)	現在認知機能が低下している可能性	50～100歳*

*AILS (認知機能低下) については49歳以下の方は選択できません

※2 脳卒中・心筋梗塞の発症リスクは、脳卒中・心筋梗塞のいずれかを発症するリスクを評価します。脳卒中の方、心筋梗塞の方、糖尿病の方、認知症の方、軽度認知障害の方 (いずれも医療機関で診断を受けた方、あるいは治療中の方) の場合、その疾病・所見に関するAILS値や生活習慣改善タイプは出力されますが、いずれも評価対象外となります。

なお、以下に該当する方は検査結果に影響がありますので、検査を受けていただくことはできません。

- ・妊娠されている方
 - ・授乳中の方
 - ・がん患者 (治療中を含む) の方
 - ・先天性代謝異常の方
 - ・透析患者の方
- *AILS (認知機能低下) については49歳以下の方は選択できません

29

アミノインデックス® 検査 受診前の注意点

血液中のアミノ酸濃度バランスに影響を与える可能性がありますので、以下の注意事項をお守りください。

食事

検査前8時間は水以外は



検査前8時間以内に水以外 (食事、サプリメント等) は摂らないでください。また、検査前日の夕食はたんぱく質 (肉、魚など) を過剰に摂りすぎないでください。

運動

当日朝は



検査当日の朝の運動はお控えください。

お薬

事前に相談を



お薬の影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医または健診施設にご相談の上、指示に従ってください。

受診のタイミング

午前中に受診 (採血) してください。

30

AICS® の結果に影響を与える可能性がある病気

現在下記の病気にかかっている方は、AICS値に影響を与える可能性があります、検査の対象外とするものではありません。

AICS®を受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのにAICS値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種AICS®の結果に影響を与える可能性が分かっている病気

- ・AICS（肺）：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- ・AICS（前立腺）：前立腺肥大、糖尿病
- ・AICS（子宮・卵巣）：子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- ・複数のAICS®：脳梗塞

エーアイエルエス

AILS® の結果に影響を与える可能性がある病気

脳卒中・心筋梗塞発症や糖尿病発症、認知機能低下との関連が報告されている以下の病気・所見について、「ランクB」、「ランクC」を示す割合が高くなることが知られています。

高値を示すことが現在までに分かっている病気・所見

- AILS（脳心疾患リスク）、AILS（糖尿病リスク）：食後高血糖、高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドローム、内臓脂肪型肥満、脂肪肝、肝機能異常、高尿酸血症
- AILS（認知機能低下）：食後高血糖、高血圧、高LDLコレステロール血症、高non-HDLコレステロール血症、内臓脂肪型肥満

31

AICS®：現在がんである可能性とは

AICS®は、現在がんである可能性を評価する検査で、がんであるか否かを判断するものではありません。

「ランクA」でもがんでないとは言い切れません。

「ランクB」や「ランクC」であっても必ずがんであるということではありません。

AILS（脳心疾患リスク）：10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクとは

AILS（糖尿病リスク）：4年以内に糖尿病を発症するリスクとは

AILS（認知機能低下）：現在認知機能が低下している可能性とは

AILS（脳心疾患リスク）は10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク、AILS（糖尿病リスク）は4年以内に糖尿病を発症するリスク、AILS（認知機能低下）は現在認知機能が低下している可能性を評価するもので、生涯にわたってのリスクを評価するものではありません。

なお、「ランクA」であっても、10年以内に脳卒中・心筋梗塞、4年以内に糖尿病を発症しない、あるいは、現在認知機能が低下していないとは言い切れません。

また、「ランクB」や「ランクC」であっても、必ずしも10年以内に脳卒中・心筋梗塞や4年以内に糖尿病を発症したり、現在認知機能が低下していたりするわけではありません。

受診前

一般向け
3つ折り
リーフレット (A4)
漫画冊子
(A5冊子)



院内ポスター (A2)



施設専用チラシ (A4 1枚)



※1,000部以上から注文可能

紹介動画 (Youtube)



検査詳細サイト
(webサイト)



受診決定

受診される方へ
(A4両面 1枚)



AICS® 結果報告書
(A4両面)

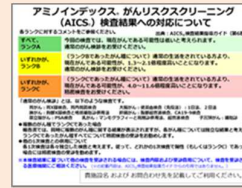


AILS® 結果報告書
(A4両面)



受診後

AICS®
検査結果への対応
(※医療施設様へは
ひな型データのご提供)



ポケットファイル
(A4書類封入可能)



AILS® 生活改善ガイド
(B5冊子28頁)



aminoステップ® (スマホアプリ)



「アミノインデックス® 検査」
医療機関サーチ (webサイト)

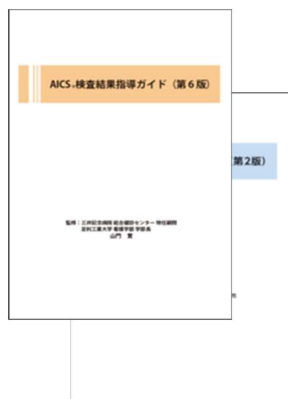


医療従事者向けAIRS® (AICS®・AILS®) 資料

医療従事者向け解説書
[A4冊子]
(AICS®およびAILS®)



検査結果に関する
指導ガイド
(AICS®およびAILS®)



概要資料
(AICS®およびAILS®)



他のがん一次検診結果
との組み合わせに対する
コメント事例
(AICS®)



【その他資料】
問診票 (雛形)、参考文献資料 など

医療従事者向けの資料もご活用ください

アミノインデックス® 医療従事者向けサイト

アミノインデックス® リスクスクリーニング

血液中のアミノ酸濃度を測定し、アミノ酸濃度バランスから「がん」「脳卒中・心臓疾患」「認知機能低下」「糖尿病」「アミノ酸レベル」のリスクを評価します。

このサイトは、日本国内の医師、看護師等の医療関係者を対象としたアミノインデックス®リスクスクリーニングの情報提供を目的に作成されています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんので、ご了承ください。

あなたは医療関係者ですか？

はい

いいえ

本サイトのトップページへ移動します

別の医療(アミノインデックス®)紹介サイトへ移動します

※アミノインデックス®は特許の商標の登録商標です。



アミノインデックス® 医療従事者向けサイトは、
(<https://aminoindex.jp/medical/>)
医療従事者の方向けの検査に関する情報を
入手できるサイトです。

- アミノインデックス® とは
- AIRS® とは
- 導入について
- 販促情報/活用コンテンツ
- よくあるご質問
- お問い合わせ 他

アミノインデックスを
患者さんに案内したい

「販促情報/活用コンテンツ > キャンペーン情報
> [チラシ依頼](#)」のページから

施設様専用の **アミノインデックス® チラシ** を
無料で注文 (1,000部単位) することができます。

アミノインデックスに関する **資料が欲しい**

「販促情報/活用コンテンツ > 一般向け資料ダウンロード または
医療従事者向け資料ダウンロード」のページから
資料をダウンロードすることができます。

紙資料として必要な場合はお問い合わせフォームから
注文していただくことができます (無料)

35

「アミノインデックス® 検査」医療機関サーチ



「アミノインデックス® 検査」医療機関サーチは、
(<https://aminoindex.jp/search/>)

- ① アミノインデックス® 検査を取り扱っている医療機関
- ② AICS® 検査後の精密検査先 (がん種別) を検索できるサイトです。

本サイト右肩の

掲載に関するお問い合わせ

より登録 (情報公開) ができます。

The screenshot shows the 'Medical Institution Search' page on the Amino Index website. On the left, there is a search grid for medical institutions. On the right, there is a registration form for medical institutions. The form includes fields for 'Application Content' and 'Medical Institution Name', and a 'New Registration' button. A red arrow points from the search grid to the registration form, indicating the process of registering a medical institution.

アミノインデックス® 医療従事者向けサイト (<https://aminoindex.jp/medical/>)

- 販促情報/活用コンテンツ > [医療機関サーチ登録](#) から登録可能です



1. AIRS® の概要

2. AIRS® 検査の流れ・資材・注意点

3. AICS®・^{エーアイエルエス}AILS® の性能、実績、研究結果

各ランクのがんである可能性（倍率）

ランク分類		罹患率※	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値			0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~10.0
項目	がん種				
AICS（胃）	胃がん	0.0985%	1/3,248 【0.3倍】	1/634 【1.6倍】	1/99 【10.2倍】
AICS（肺）	肺がん	0.1003%	1/2,954 【0.3倍】	1/534 【1.9倍】	1/111 【9.0倍】
AICS（大腸）	大腸がん	0.1578%	1/1,267 【0.5倍】	1/500 【1.3倍】	1/77 【8.2倍】
AICS（膵臓）	膵臓がん	0.0348%	1/10,004 【0.3倍】	1/2,271 【1.3倍】	1/248 【11.6倍】
AICS（前立腺）	前立腺がん	0.1543%	1/1,440 【0.5倍】	1/304 【2.1倍】	1/101 【6.4倍】
AICS（乳腺）	乳がん	0.1698%	1/889 【0.7倍】	1/327 【1.8倍】	1/147 【4.0倍】
AICS（子宮・卵巣）	子宮・卵巣がん	0.1029%	1/3,887 【0.3倍】	1/663 【1.5倍】	1/84 【11.6倍】

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性。

【 】内は各種がんの罹患率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。

※罹患率は、全国がん罹患率（出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）：全国がん罹患データ（2016年～2019年））に基づき、%表記に換算しています。

AICS（胃）の場合、ランクAでは3,248人に1人が、ランクBでは634人に1人が、ランクCでは99人に1人が、胃がんである可能性を示しています

アミノインデックス®がんにリスクスクリーニング (AICS®) 検査結果への対応について

各ランクに対するコメントをご参照ください。

出典：AICS®検査結果指導ガイド（第6版）

すべて、 ランクA	今回の検査では、現在がんである可能性は低いと考えられます。 通常のがん検診をお受けください。
いずれかが、 ランクB	(ランクBであったがん種について) 通常の生活をされている方より、 現在がんである可能性が、1.3~2.1倍程度高いこととなります。 通常のがん検診をお受けください。
いずれかが、 ランクC	(ランクCであったがん種について) 通常の生活をされている方より、 現在がんである可能性が、4.0~11.6倍程度高いこととなります。 精密検査をお受けください。

「通常のがん検診」とは、以下のような検査です。

胃がん：胃X線検査、胃内視鏡検査 大腸がん：便潜血検査（免疫法）：1日法、2日法
肺がん：胸部X線検査と喀痰細胞診併用法 膵臓がん：腹部超音波検査、CA19-9検査
前立腺がん：PSA検査 乳がん：マンモグラフィと視触診併用法、超音波検査 子宮頸がん：細胞診

- 複数のがん種でランクCであった場合
報告書では、同時に複数のがん種に関する結果が表示されますが、各がん種については独立な結果と考えて、
ランクCであったがん種すべてについて精密検査の受診を勧めます。
- 他の1次検査との併用について
各1次検査は各々独立した検査と考えます。従って、どれかの1次検査で陽性（もしくはランクC）であった場合には
精密検査の受診を勧めます。

※本検査結果に基づいて他の検査を受診される場合には、検査内容および受診費用について、検査を受診される医療機関に
ご相談ください。精密検査の取り扱い医療機関については、リスク検査「アミノインデックス®検査」医療機関サーチ
(<https://aminoindex.jp/search/>)をご参照ください。(※の記載内容は、AICS®検査結果指導ガイドからの引用ではありません)

貴施設名 および お問い合わせ先を記載してご利用ください。 33



こちらのページからダウンロード可能です

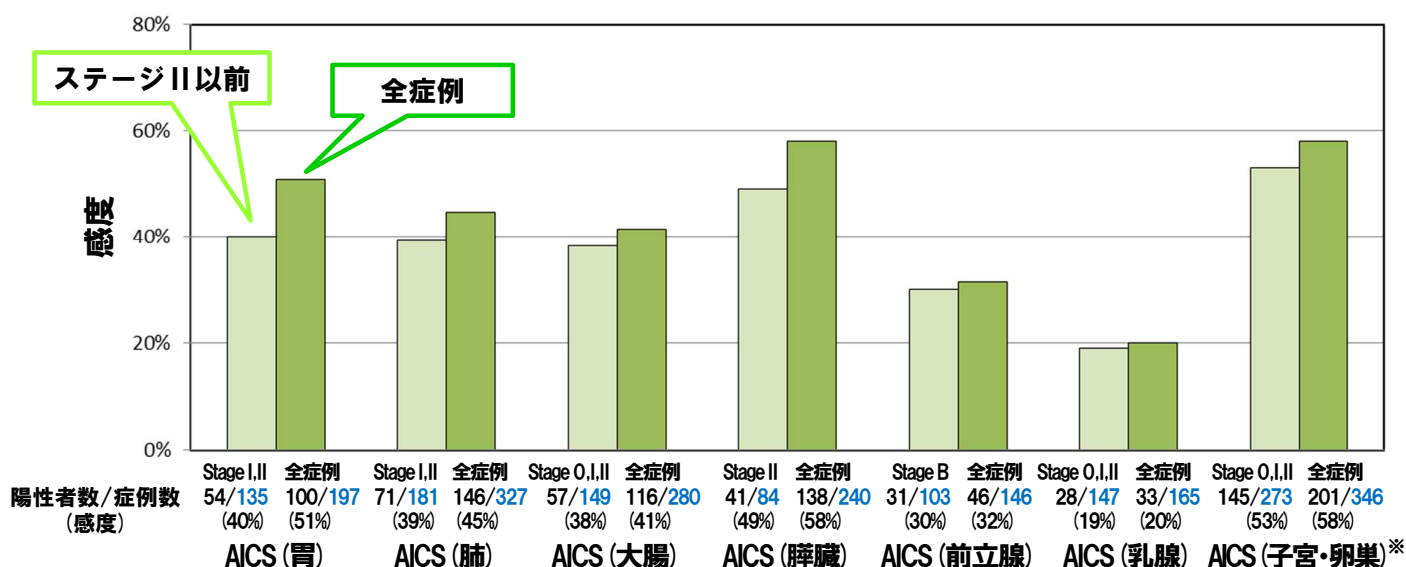
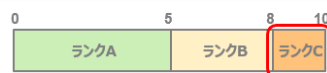
https://aminoindex.jp/medical/general_document/

医療施設様へひな型データをご提供します

39

各がん種における「ランクC」の感度

「ランクC」 = 特異度95%



注) 感度、特異度は、症例対照研究に基づき、がん患者と健常者がそれぞれ異なる集団から算出されています。

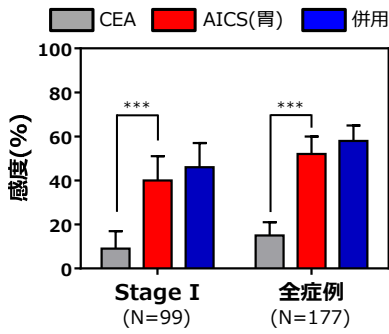
※ AICS(子宮・卵巣)は、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としており、いずれのがんであった場合を陽性としています。

全症例（ステージゼロ期からIV期）に対して早期のがん（ステージII期以前）に絞っても、どのがん種でも感度が大きく落ちていないのが特徴となります

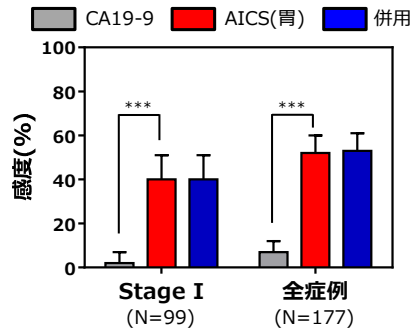
各種腫瘍マーカーとの比較検討

※) AICS® : ランクC 腫瘍マーカーカットオフ値 : : CEA 5.0ng/mL, CA19-9 37.0U/mL McNemar's Chi-squared test : **p<0.01, ***p<0.001

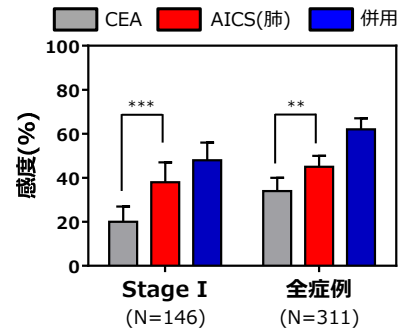
胃がん : AICS(胃)、CEA



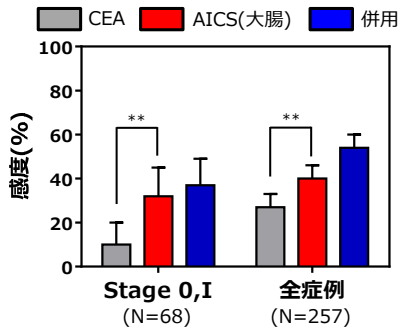
胃がん : AICS(胃)、CA19-9



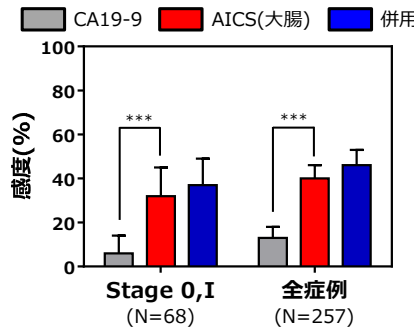
肺がん : AICS(肺)、CEA



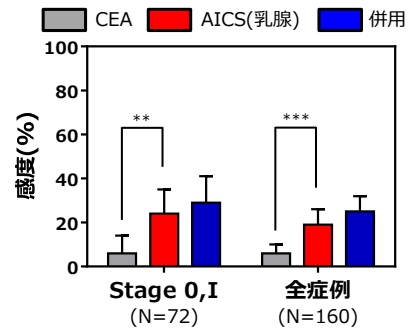
大腸がん : AICS(大腸)、CEA



大腸がん : AICS(大腸)、CA19-9



乳がん : AICS(乳腺)、CEA



(上記) がん種においては、AICS®は従来の腫瘍マーカーと比較して有意に高い感度を示しています。また Stage I までの早期がんにおいても、同様の結果となっています。

宮城洋平, 他 : 人間ドック29 : 585-591(2014) 41

AICS® ランクC判定者の精密検査結果 (南部町西伯病院受診例)

受診者 : 1,903例 (男性828, 女性1,075)

がん種	精密検査結果		がん種	精密検査結果	
AICS(胃) 444例 [精密検査381例]	胃癌	6	AICS(前立腺) 124例 [精密検査122例]	前立腺癌	2
	慢性胃炎	274		PSA高値	9
	十二指腸腫瘍	1		PSA正常	111
	ポリープ (SMT)	25	検査なし	2	
	異常なし	75	AICS(乳腺) 123例 [精密検査111例]	要経過観察	5
	検査なし (他院)	63		石灰化	2
		乳腺症・線維腺腫		2	
AICS(肺) 204例 [精密検査204例]	GGO	33	異常なし	102	
	炎症性癒痕・肺気腫	107	検査なし	12	
	アスベスト肺・真菌症	2	AICS(子宮・卵巣) 104例 [精密検査83例]	異型上皮・HPV+	1
	異常なし	62		頸部・膣部ビラン	5
検査なし	0	子宮筋腫		17	
AICS(大腸) 159例 [精密検査111例]	大腸癌	1	卵巣腫瘍	3	
	ポリープ (LST)	55	異常なし	57	
	異常なし	55	検査なし	21	
	検査なし	48			

がん発見率 : 0.47%

2015年「人間ドックの現状」日本人間ドック学会報告の 0.26% と比較して高頻度

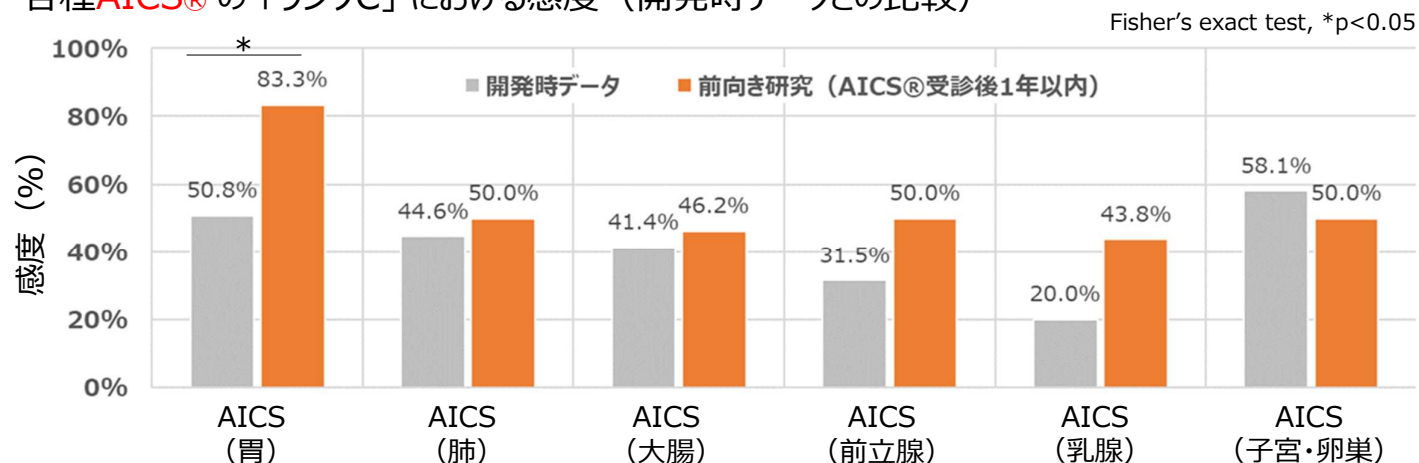
ランクC症例の精密検査の結果、がんだけでなく複数の病変が見つかります

AICS® 臨床性能の多施設検証

(方法) 多施設 (三井記念病院、千葉県がんセンターコホート、西伯病院) の前向き研究においてAICS®の健診でのがん発見に関する検査性能を検証

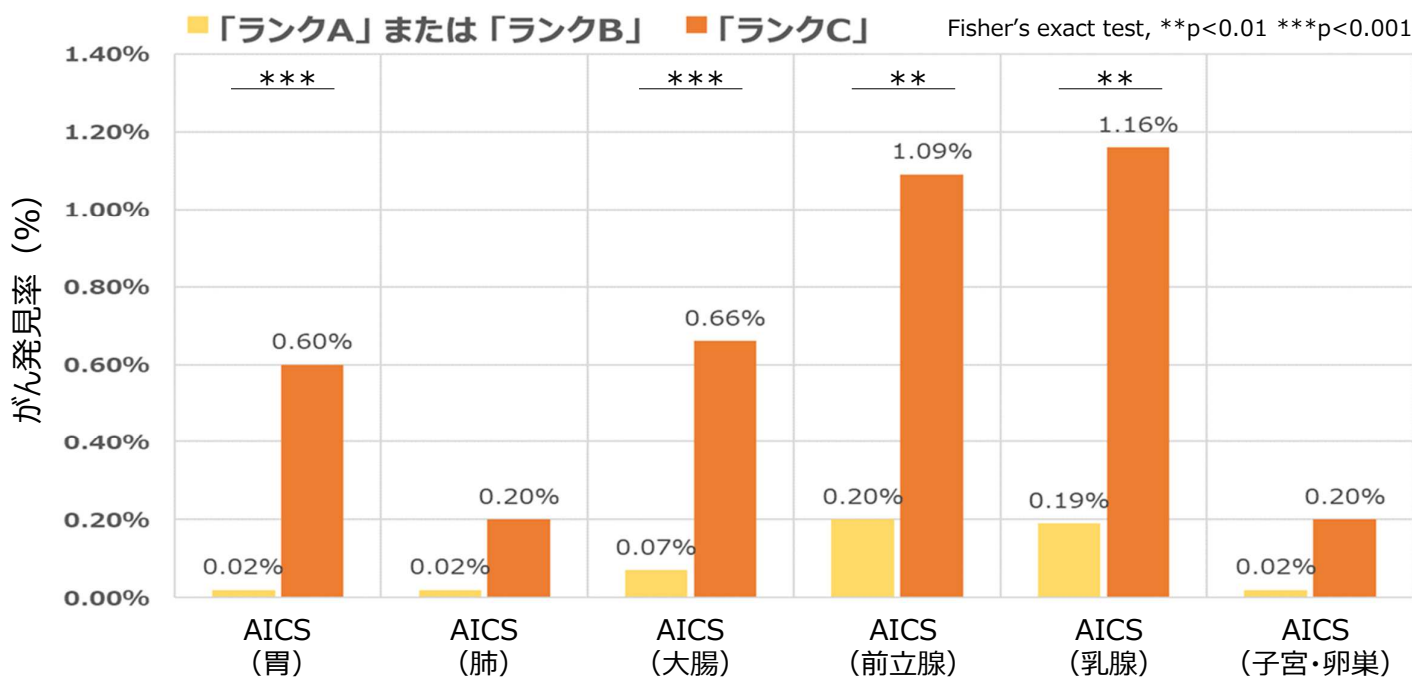
	3施設 計	三井記念病院	千葉県がんセンターコホート	西伯病院
男女 計	10,245例	4,967例	2,886例	2,392例
男性	4,819例	2,757例	1,033例	1,029例
女性	5,426例	2,210例	1,853例	1,363例

各種AICS®の「ランクC」における感度 (開発時データとの比較)



前向き研究にて各種AICS®の感度が、開発時データと比較して同等以上であることを確認しています

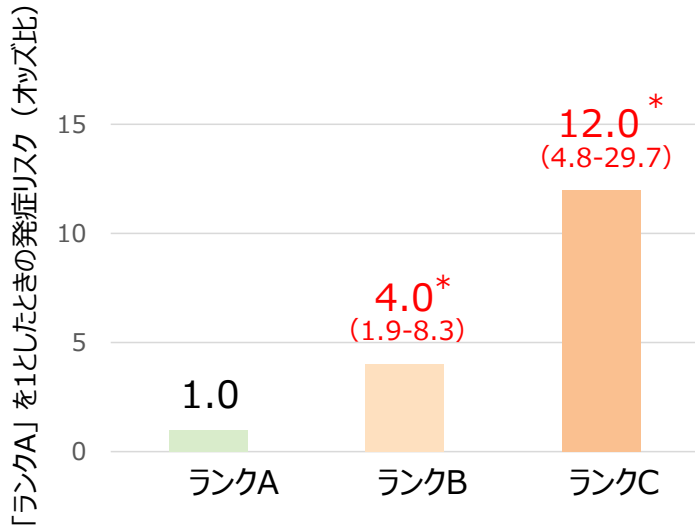
AICS® “受診後1年以内” における各ランクのがん発見率



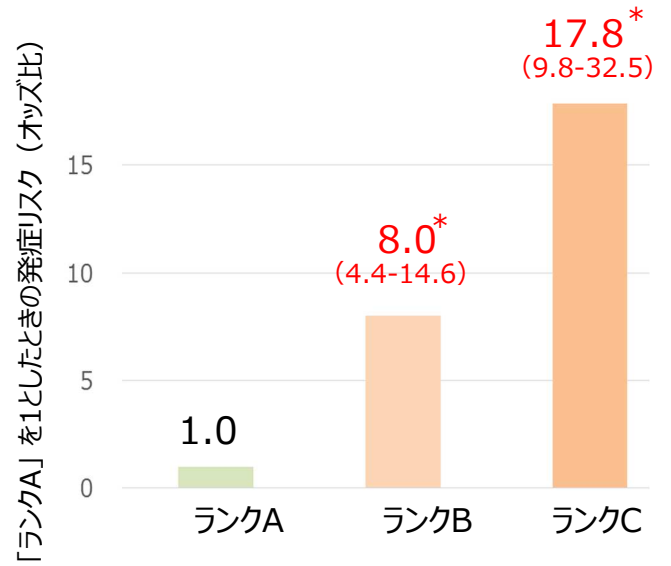
「ランクC」におけるがん発見率は、「ランクA」または「ランクB」におけるがん発見率の5.5倍～30.0倍程度高く、AICS®によるがん発見率は0.33% (34例/10,245例) と人間ドック全国集計報告 (2015年) によるがん発見率0.26%より高くなっています

各ランクにおける脳卒中・心筋梗塞、糖尿病発症リスク（オッズ比）

10年以内に
脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク



4年以内に糖尿病を発症するリスク

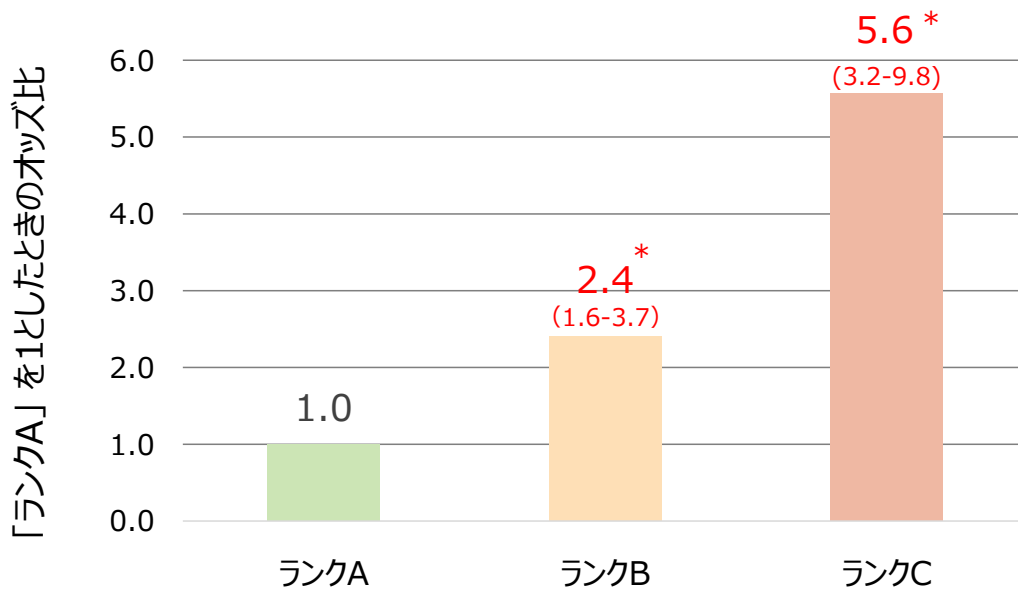


* : 「ランクA」に対して有意に高いことを示します [(カッコ内) : 95%信頼区間]

AILS（脳心疾患リスク）とAILS（糖尿病リスク）のランクがA→B→Cになると、それぞれ脳卒中・心筋梗塞と糖尿病を発症するリスクが有意に高くなります

味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供データ 45

AILS（認知機能低下）： 各ランクにおける認知機能低下に対するオッズ比



認知機能健常群	220例	132例	66例	22例
MCI群	219例	70例	84例	65例

* : 「ランクA」に対して有意に高いことを示します [(カッコ内) : 95%信頼区間]

AILS（認知機能低下）のランクがA→B→Cになると、現在認知機能が低下している可能性が有意に高くなります

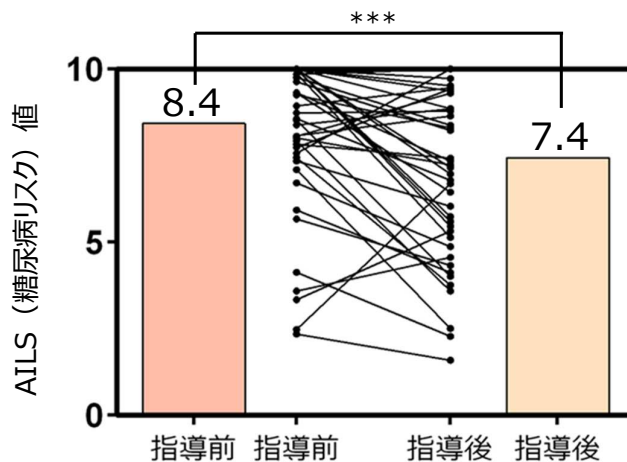
栄養・運動指導前後のAILS（糖尿病リスク）値

(方法) 対象者※ (n=85) に、カロリー摂取を控え、日常的な運動を促すような栄養・運動指導を約3ヶ月間行った後、体重・腹囲がともに低下した50例に対して指導前後のAILS（糖尿病リスク）値を比較

※対象者；下記①もしくは②に該当する方

①BMI ≥ 30 kg/m²

②腹囲 男性： ≥ 85 cm 女性： ≥ 90 cm または BMI ≥ 25 kg/m² かつ高血圧、高血糖、脂質異常のいずれかを呈す

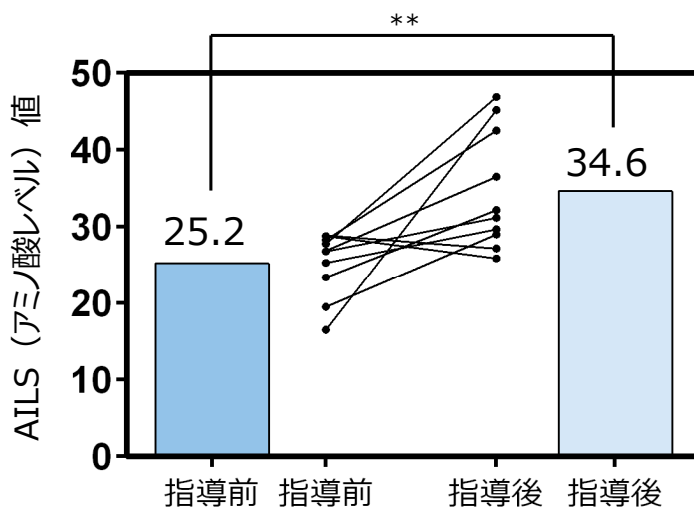


栄養・運動指導による体重・腹囲の改善者は
AILS（糖尿病リスク）値も有意に低下しています

山門實：人間ドック32(5)：713-725(2018) 改変 臨床研究実施施設：神奈川県予防医学協会 47

栄養・サプリメント介入によるAILS（アミノ酸レベル）値への影響

(方法) AILS（アミノ酸レベル）が「低い」（30未満）と評価された対象者 (n=10) に、アミノ酸に関する食事指導とアミノ酸サプリメント（ロイシン40%配合必須アミノ酸）3.0g \times 2回/日摂取することを8週間実施し、指導前後のAILS（アミノ酸レベル）値を比較



食事指導・サプリメント介入によって、
AILS（アミノ酸レベル）値が有意に増加しています